

令和5年度 シラバス(外国語)

学番10 新潟県立新潟向陽高等学校

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーション I)	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	東京書籍『Power On English Communication I』				
副教材等	東京書籍『Power On English Communication I スタディノート』 東京書籍『FAVORITE 英和辞典』				

1 学習目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、英語の知識を実際のコミュニケーションに応じて、適切に活用できる能力及び目的や場面、状況などに応じて表現したり伝え合ったりする能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、自主的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。

2 指導の重点

- ・聞いたり読んだりしたことについて、概要や要点を捉えさせる。
- ・情報や考えなどを表現したり、伝え合ったりする活動に主体的に取り組ませる。
- ・音声、語彙、表現、文法の理解を深める。

3 評価の観点の趣旨

<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる能力を身につけている。 	目的や場面、状況などに応じて、日常的、社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、発信者の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
--	---	--

4 評価規準と評価方法

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
聞くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと [やりとり]	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと [発表]	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して書いて伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて書こうとしている。
評価 方法	・定期考査 ・小テスト(単語テスト) ・パフォーマンステスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・課題の取り組み ・授業内での発言、活動の取り組み ・パフォーマンステストの取り組み

5 学習計画

【 評価の観点 a=知識・技能、b=思考・判断・表現 c=主体的に学習に取り組む態度 】

月	単元名	時数	学習活動（指導内容）	評価の 観点	評価方法
4	辞書の使い方	2	・英和辞書の使い方	c	活動の取り組み
5	Lesson 1 Japan's New Tourism	8	・体験型ツーリズムについて ・現在形・過去形、進行形、助動詞	c c a	課題(スタディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト
	Lesson 2 Light from Creatures	8	・生き物の光る理由やその医療研究について ・受け身、現在完了形、現在完了進行形	a a b c	パフォーマンステスト
6				c c a a b c	課題(スタディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト

	Lesson 3 Routes to the Top	8	・スポーツライマー野口選手のインタビュー ・動名詞、不定詞、S+V+O(that 節)	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
	前期中間考査	1		a b	定期考査
7	Lesson 4 Left to Right, Right?	8	・日本の漫画の形式やその翻訳について ・後置修飾の現在分詞、過去分詞、比較級、最上級	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
	Summer Reading Mama's Bank Account	3	・説明する、理由を述べる、共感する	c	課題(音読、ワークシート)
8	夏季休業			c	課題
9	Lesson 5 Banana Paper	8	・バナナの茎から作られるバナナペーパーについて ・関係代名詞、seem+to 不定詞	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	8	・人間の行動パターンに関する実験について ・It is 形容詞 that~, 第2文型、第5文型	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
	前期期末考査	1		a b	定期考査
10	Lesson 7 No Plastic or No Future	10	・プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 ・関係副詞、関係代名詞 what	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
11	Lesson 8 Oh My God!	10	・フィッシュ&チップスの歴史と食料資源について ・分詞構文(現在分詞)、関係代名詞非制限用法、過去完了形	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
	後期中間考査	1		a b	定期考査
12	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	10	・eスポーツについて ・知覚動詞、使役動詞、第4文型	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
1	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	10	・写真家ヨシナギさんに関する雑誌記事 ・仮定法過去(wish, as if, if 節など)	c c a a b c	課題(ステディノート、音読) 活動の取り組み 小テスト パフォーマンステスト
2	Optional Reading	8			
3	THANK YOU, ICHIRO		・手紙	c	課題(音読、ワークシート)
	学年末考査	1		a b	定期考査

計 105 時間 (50 分授業)

6 観点別評価を総括して評価する際の比率

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
45%程度	35%程度	20%程度

7 課題・提出物等

・課題 スタディノート、ワークシート、音読活動など ・長期休業中の課題(別途指示)
--

8 担当者から一言

ペアワークやグループワークなどを通じて英語を実際に使う場面を設定しますので、間違いを恐れずしっかりと取り組んでください。
--